

介護職員 感染対策学ぶ 富山 オンライン研修会

新型コロナ対策について語る種部県議（左）
と村井デイサービス管理者＝県総合福祉会館



新型コロナウイルスに関する介護従事者向けの研修会が2日、富山市の県総合福祉会館で開かれ、約90人が実体験に基づいた講演に

聞き入り、感染対策を学んだ。
県老人福祉施設協議会が主催。新型コロナ予防のため、テレビ会議アプリ「Z

OOM（ズーム）」を使ってオンラインで行われた。4月に職員の感染が確認された富山市の特別養護老人ホーム「さきづ苑」の村井博昭デイサービス管理者が、体験談を紹介。「厳しい言葉を投げ掛けられたり、嫌がらせを受けたりもしたが、多くの方の支援のおかげで乗り越えることができた」と振り返った。

県医師会常任理事で産婦人科医の種部恭子県議も講演し、「感染した人を責めるのではなく、正しい知識を持ち、正しく予防してほしい」と語った。